

「第46回高野山夏期講座2015 部落解放・人権夏期講座」 内容紹介

8月19日(水)

全体講演1-①>長編記録映画「人間みな兄弟 部落差別の記録」

1959年～1960年当時の被差別部落の現状を描いた記録映画。50カ所を超える被差別部落で撮影が行われた。同和対策審議会答申から50年、答申当時の被差別部落の実態を見る。

全体講演1-②>「シンポジウム 同和審答申を読む」

本年は「部落問題の解決が国の責務であり、国民的課題である」と述べた内閣同和対策審議会答申から50年を迎える年にあたる。半世紀が過ぎ、「同和審答申」を知らない世代が増えた。あらためて答申を読んで今日の部落差別の現状と課題を考える。

全体講演2-①>「生活困窮者自立支援法と助けてと言える人権のまちづくり」

格差が拡大し、貧困、差別、社会的排除によって累積的、複合的問題を抱え苦しんでいる人々が増えている。社会的困難を抱える人たちが「助けて」といえる人権の社会づくりをどうつくりあげていくのかを考える。

全体講演2-②>「ブラックバイトと大学生！ ～学生ユニオンはじめました～」

低賃金労働、長時間労働を課す「ブラックバイト」に、関西の学生が労働組合を結成して立ち上がった。「関西学生アルバイトユニオン」(関ユニ)である。関ユニが実施したアンケートから、泣き寝入りを強いられている学生の声を聞く。

8月20日(木)

課題1-①>「企業と人権—変化する内外情勢をふまえて

～「部落地名総鑑」発覚40年の節目で～」

全国の同和地区の所在地等を記載した部落地名総鑑が作成され、多くの企業・法人が購入していたことが発覚して40年。今一度この事件を振り返り、変化する内外情勢をふまえて、これからの企業に求められる人権・CSRの取り組みについて考える。

課題1-②> 「大阪市のヘイトスピーチ対策を読み解く

～市民がつくった規制条例案との比較から」

大阪市では昨年以來、ヘイトスピーチに関する条例制定にむけた官民の動きが活発に
おこっている。その背景には、深刻な被害の発生、規制を求める地域の声の高まりがあ
る。日本最大のコリアタウンを擁する生野区でのとりくみの経緯を振り返り、大阪市と
してのあるべきヘイトスピーチ対策を考える。

課題1-③④> 「シンポジウム ヘイトスピーチの法規制にむけて

～実現に向けた論点を探る」

京都朝鮮学校襲撃事件の最高裁判決以降も後をたたないヘイト・スピーチ。人種差別
撤廃条約を批准している我が国政府へ国連から法規制の勧告が再三なされている。表現
自由、対抗言論などの意見がある中、現状をふまえた法規制について考える。

課題2-①> 「国際男女平等ランキングで日本はなぜ105位なのか

～女性差別撤廃条約と日本の課題」

女性差別撤廃条約批准から30年。男女雇用機会均等法の制定、自治体における男女共
同参画条例の制定など日本は条約の理念をどこまで具体化できたのか。「女性の活躍」
が叫ばれている中、女性の人権確立の課題を考える。

課題2-②> 「2020東京オリンピック・パラリンピックとアクセシビリティ」

2020年オリンピック・パラリンピックがすべての人にとってアクセス可能でインクル
ーシブな大会になるよう「Tokyo 2020 アクセシビリティ・ガイドライン」を策定する。
障害者差別解消法施行をふまえた課題と取り組みを学ぶ。

課題2-③> 「マイナンバー制度の問題～プライバシーの重大な危機」

10月から「マイナンバー制度」がスタートする。市町村から住民に「マイナンバー」
が送られてくる。「マイナンバー制度」とはいったいどのような制度なのか。行政の仕
組みや企業の対応は。私たちの個人情報は大丈夫なのか。

課題2-④> 「LGBTが直面する困難の視えにくさと、法整備の必要性」

各種調査で「20人に1人はいる」といわれる「性的マイノリティ～LGBT」とは？
当事者は家庭や学校、職場などの日々の生活でどんな困難にぶつかっているのか。渋谷
区「同性パートナーシップ条例」はじめ、自治体の様々な取り組みや「LGBT差別禁止
法」を求める動きなどを学ぶ。

課題3-①> 「入門部落問題～部落差別のとらえ方」

外国人への差別、障害者への差別、女性への差別など社会に様々な差別が存在する。部落差別とはどんな差別なのか。部落差別の対象となる部落出身者とは、被差別部落とは。部落問題を知る入門講座。

課題3-②> 「居場所を失う青少年」

高校中退5.5万人、不登校（中学）9.5万人（高校）5.6万人、10代の自殺者年450～600人、10代の人工中絶年2万件超、子どもの貧困6人に1人、虐待、ネグレクト、友人関係、性被害。居場所を失い人権を侵害されている青少年の実態を知る。

課題3-③④> 「障害者差別と合理的配慮を考えるシンポジウム」

あと半年後、2016年4月から「障害者別解消法」が施行される。法律によって、行政や事業者による差別的行為が禁止され、合理的配慮の提供が義務化される。障害者差別とはいったいどのような行為か。「合理的配慮」の提供とは。障害当事者を中心に、国、自治体の取り組みをふまえて考える。

課題4-①> 「セクハラ・パワハラ問題入門 ～これってセクハラ？パワハラ？

「アンガーマネジメント」って知っていますか？」

「セクシャル・ハラスメント」「パワー・ハラスメント」の定義の理解を深めるとともに、ハラスメントの原因になる「イライラ」や「怒り」の感情（アンガー）」とうまく付き合うための心理技術、アンガーマネジメントについて学ぶ。

課題4-②> 「アイヌ女性の苦難の歴史、実態調査を実施して」

和人の侵略の歴史の中でのアイヌ民族問題と、とりわけアイヌ女性の苦難の歴史と複合差別の実態について、2013年の「北海道アイヌ生活実態」、「2008年北海道アイヌ民族生活実態調査」（北海道大学アイヌ・先住民研究センター）から学び、アイヌ民族差別解決への取組を考える。

課題4-③> 「部落問題に向き合う私たち～結婚差別を乗り越えて～」

部落出身であることで受けた偏見・差別、そして交際をめぐる家族との確執等、現代の部落差別を乗り越えてきた夫婦の足跡を伺う。

課題4-④>「同和地区所在地情報の開示をめぐって」

滋賀県内の同和地区がわかる公文書の公開請求をめぐって争われた裁判をめぐり、訴訟にいたるまでの経過や裁判の争点、3つの裁判所の判決のポイントを伺いながら、同和問題の早期解決について考える。

フィールドワーク>「高野山開創1200年の歴史～平等と差別を中心に～」

映画のタベ>『標的の村』（沖縄基地問題のドキュメンタリー）

2012年9月29日、新型輸送機オスプレイ強行配備前夜、米軍普天間基地が抗議する人びとによって封鎖された。全国ニュースから黙殺されたドキュメント。奪われた土地と海と空と引き換えに、私たち日本人は何を欲しているのか。

8月21日(金)

全体講演1-③>「水平社宣言をユネスコ記憶遺産に

～日本初世界記憶遺産山本作兵衛コレクションの経験を通して～」

1922年3月3日、全国水平社創立大会で採択された「全国水平社創立宣言」とその関係資料7件11点をユネスコの記憶遺産に登録をめざしている。2011年、日本ではじめて世界記憶遺産に登録された「山本作兵衛コレクション」の経験に学ぶ。

全体講演2-③>「ひきこもりの未来」

厚生労働省の推計では約25万5000世帯といわれるひきこもり。30～40歳になる若者も増加している。ひきこもりの背景にある抑圧、暴力などの実態、長期化、高齢化するひきこもりへの取り組みを考える。

全体講演2-④>「高野山開創1200年記念 夢のしらべコンサートin高野山」